

in B♭

# There will never be another you

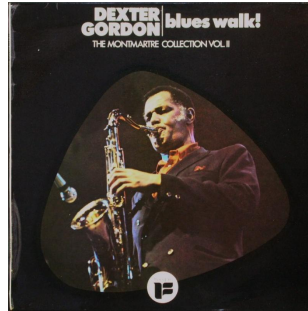
村井千紘の脱・ひよこクラブリターンズ！

## このCDを聴け！

「Blues Walk」 Dexter Gordon (左)  
Dexter Gordon (ts), Kenny Drew (pf),  
Niels-Henning Orsted Oederson (ba), Albert Heath (ds)

「Sonny Stitt Plays」 (右)  
Sonny Stitt (as)/Hank Jones (pf) Freddie Green (gt) 他

デクスターの無骨で野太くて、いい意味で飾り気のないテナー。そしてスティットの装飾音やビブラートが効いたアルトらしい煌びやかな演奏。それぞれアルトとテナーの美味しいところを生かした演奏だ。



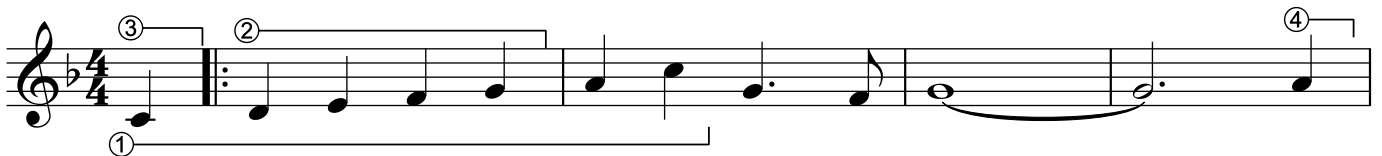
## テーマについて

リードシートを見ると4分音符ばかり...

一見簡単そうに見えますが、こんな曲こそメロディフェイクの腕が問われます！

### ★その1：テヌートとテヌートスタッカートを使い分けよう！

(リードシート1段目)



(音の形のイメージ)

\*まずは①の4分音符7つを

練習その1：全てスラーで吹いてみましょう

練習その2：全てテヌートで吹いてみましょう

練習その3：全てテヌートスタッカートで吹いてみましょう

\*息の量や音量が変わらずまっすぐ吹けるよう、一定の息・音圧をキープしましょう

\*今度は②の4分音符4つを

テヌート (以下テヌ) かテヌートスタッカート (以下スタ) でランダムに吹いて

当日お隣の席になったパートナーに無事聞き分けてもらえるよう吹き分けましょう！

練習例) テヌ/スタ/スタ/スタ、スタ/スタ/テヌ/スタ、テヌ/テヌ/スタ/スタ、etc.

### ★その2：フレーズの出だし1音目をリズムフェイクしよう！

上記楽譜の③や④のような、フレーズの出だしとなる4分音符を以下のリズムで吹きましょう



「A！」と言われたらAのリズムでとっさに吹けるよう、練習してみましょう

## 2 ★その3：エンディングはいつでもどこでも吹けるように！

8 F<sup>6</sup> B<sup>b</sup>7(#11) Am<sup>7</sup> D<sup>7</sup> F<sup>#</sup>6 B<sup>7</sup>(#11) A<sup>#</sup>m<sup>7</sup> D<sup>#</sup>7

↑ここは練習しないといつまで経っても吹けないゾ！

12 F<sup>6</sup> B<sup>b</sup>7(#11) Am<sup>7</sup> D<sup>7</sup> Gm<sup>7</sup> C<sup>7</sup> F<sup>6</sup>

rit. . . . .

### ソロについて

Sonny Stittのアドリブはジャズフレーズの宝庫です。コピーすべし！

①～⑤のうち、1つは必ず吹けるように練習してみましょう。

※テナー版は音域の関係でオクターブ上げたり下げたりしています。やりやすい高さに変えてもOKです

(0:55 ソロピックアップから)

17 F<sup>Δ</sup>7

①  
メジャーブルーススケール  
(1, 2,  $\flat$ 3, 3, 5, 6)  
=ペンタトニック(4, 7抜き)+ $\flat$ 3

②  
半音階で駆け上がり、  
メジャースケールで  
下りてくる緩急

20 Em<sup>7</sup> A<sup>7</sup> Dm<sup>7</sup>

③  
この辺からA<sup>7</sup>っぽい

↓※m7でやっている  
省略可  
↓Gのコードトーンでもある

23 G<sup>7</sup> 次小節Cm<sup>7</sup>の3rd ↓ Cm<sup>7</sup> F<sup>7</sup> B<sup>b</sup>Δ<sup>7</sup>

④  
Cドリアンからの、半音上がり・3度の下りコンボ！そしてコードトーンで美しくフィニッシュ。

↑Dmでもある

27 E<sup>b</sup>7(#11) F<sup>Δ</sup>7 Dm<sup>7</sup>

⑤  
B<sup>b</sup>mのテトラコードでもある。3度と2度の滑らかな動き